

# SNSでPV公開

の子を主人  
公にするこ  
とに決ま  
り、たまた

【三重】中田商事（中田純一社長、三重県伊賀市）は7月中旬から、初めて作った自社のプロモーションビデオ（PV）をホームページ（HP）に加え、フ

切入れず、音楽のみで見せるファンタジー系のイメージ映像に仕上げた。森の中心で絵を描いている少女が走り出し、中田商事が運営するサッカー専用スタジアムや保育園を駆け抜け、本社前の大型トラックにたどりつく。撮影は5月に伊賀市で行われた。

## 中田商事

エイズブックやインスタグラムなどのSNS（交流サイト）で順次公開している。

主人公の少女を演じているのは、中田社長の長女の娘で、孫の井久保このさん。このこのさんの父親も中田商事で倉庫スタッフとして働いている。中田氏は「孫の出演が前提だったわけではない。打ち合わせの中で、おさげ髪の5歳ぐらいの女

PV製作は地元伊賀市出身の映像クリエイターが担当。説明ナレーションは一

ま孫がそのイメージに合っていただけ」と明かす。PVのラストは、トラック登場の後、「この町に幸せを運ぶ中田商事」の文字で締めくくっているが、中田氏は「当社は様々な事業を手掛けており、本音を言えば、トラック運送事業だけを強調したくはなかった」と苦笑する。

その上で「PVで映像化したのは企業としての理想像だが、特に女性からの評判が良い。地域貢献や青少年育成も含め、今後も我が社の理想を追求していきたい」と話している。

少女がサッカースタジアムを駆け抜けるPVのワンシーン

（星野誠）